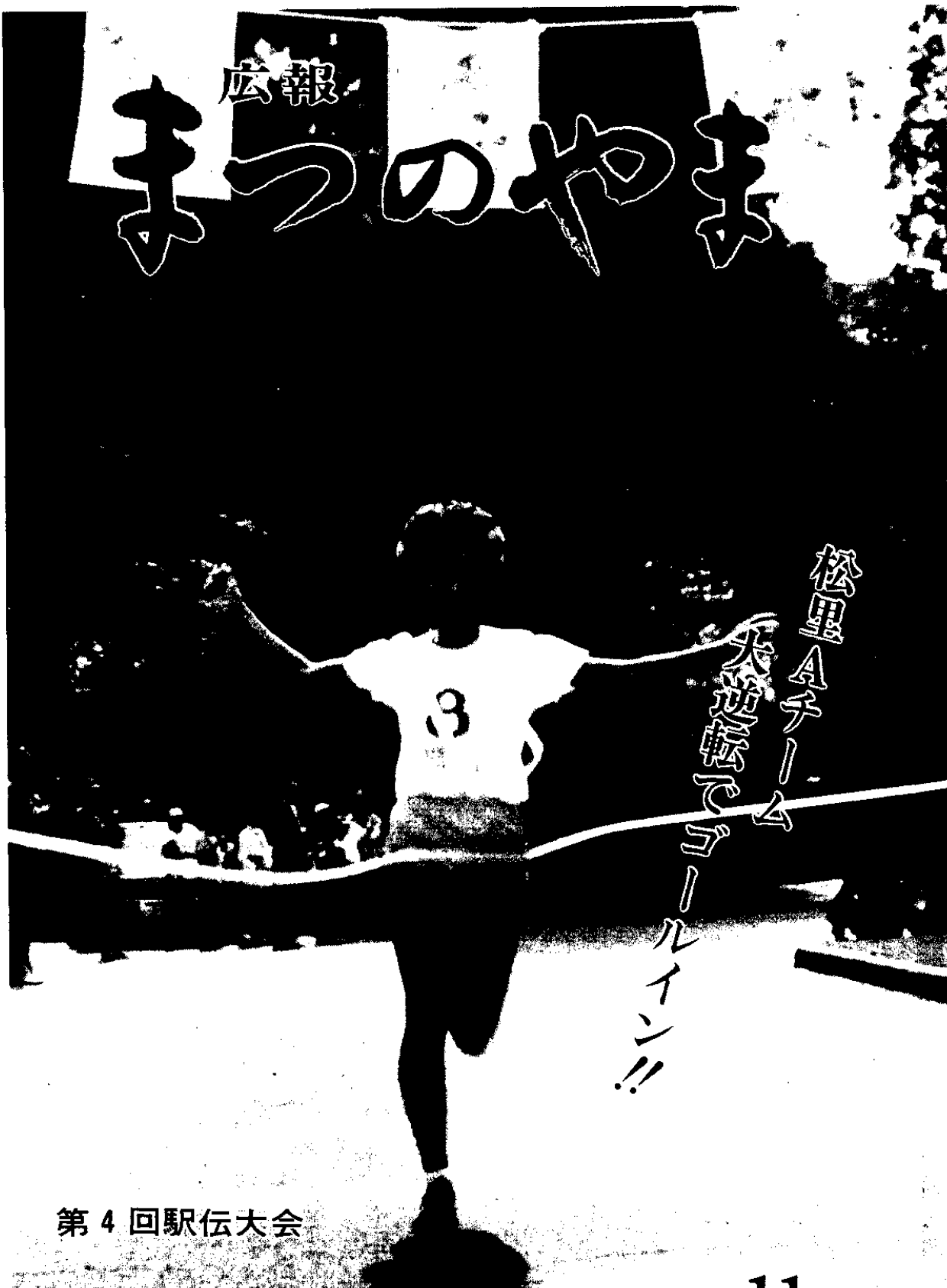


広報

# まつのやま



松里

Aチーム

大逆転で

ゴール

イン!!

第4回駅伝大会

発行：新潟県松之山町 ☎02559(6)3131

No.117 昭和60年11月10日

1985-11月号

# 第4回農業祭

## 秋の一日を満喫



村歌舞伎とは思えない迫力

### 大盛況 小雨降る中

#### 一、六〇〇人が祭り楽しむ!

深まりゆく秋の一日、大勢の町民が繰り出した。収穫の喜びと文化の潤いを享受し合う、恒例の町農業祭である。

紅葉に包まれた自然休養村センターと町民体育館は、過疎を吹き飛ばす一大イベントと連帯の場となった。

朝八時近くには試食券をもらう人々が長い行列をつくりはじめた。おちゃんをおんぶし、幼子の手を引く家族連れの様が目について、農山村ならではの情景が、かもし出されていた。

ポン菓子や、子供たちの人気をさらった。ポン菓子を作る機械の、小気味よい破裂音が響くと、「ワァー」という歓声があがる。子供たちの笑顔が印象的だった。

コシヒカリのおにぎり・手打ちそば・もちば、みんなに喜ばれた。折しも食欲の秋、千数百食が平らげられた。

この試食品サービスの裏には、百人に近い婦人会や青年会、農業委員会の皆さんの協

力があつた。泊り込みで米とぎ、早起きしてご飯炊き——そんな陰の力を果してくれたおばさんもあつた。

手打ちそばは、何ヶ月も前からの下準備が必要。農業祭の合間を縫っての作業と、農業祭前日と当日の指導に当たられた方々の苦勞に感謝しなければならぬ。加えて、そばの手打ち作業に精を出された婦人たちの勞を多しなればならないと思う。

良質米共励会関係の展示場は、今年も多くの人々が足を止め、稲株と米に見入った。豪雪、干害、病害虫の発生など苦勞が多かつただけに、その勞をねぎらい合う光景が見られた。

この展示場には、農業の安全使用を呼びかける広報板や松之山の「秋」を象徴する数枚の写真も掲げられた。

野菜の即売は、秋野菜の不作にしては、予想外のにぎわいだった。山もい、ユリ、くるみの出たのが、今年の特徴

点。葉もの、根菜類は品不足で、あつという間に売り切れた。

「伝えてゆきたいわが家の味と香り」は、今年も好評を博した。伝統の味を味わおうと、展示コーナーに人の列は切れなかつた。手塩にかけた四十九品には、次代に伝えたい「心」がしみ込んでいる。

この外にも「食推コーナー」に豆乳・コンニャク・煮干し粉が並び、それに松高料理クラブの「アンボ」の展示が加わつたのは、うれしい。

「高齢者作品展」は、新たな企画。その数は二十品にも達し、特産品開発にかける老人たちの、尽きない情熱がうかがえた。

年々水準が上がっている芸能祭。呼び物のムラ歌舞伎は上川手歌舞伎保存会の皆さんによる「菅原伝授手習鑑——寺子屋の場」。名場面が展開されると、観客席から拍手がわき起こつた。ムラ歌舞伎の継承発展に連帯して取り組む保存会とそれを支える部落民に対し、上演成功をたたえた。

松里小学校の児童による劇

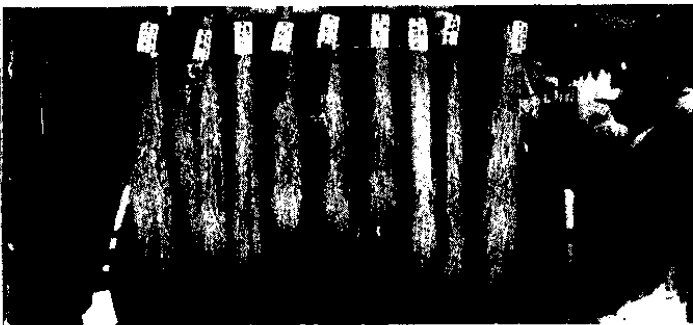
「管領塚物語」。真剣な子供たちの演技は、会場を魅了せずにはおかなかつた。

一日だけの開催に日程を短縮した芸能祭は、夕方六時過ぎまで延々と続いた。

児童・生徒の作品展や一般の美術展も、多くの注目を集めた。

こうして独自性と主体性に満ち、その水準の高さを示した農業祭・芸能祭・美術展は終わった。多くの町民の心の中、その余韻は消えることなく残り続けるのではないだろうか。

良質米の稲株に興味が集



(3)まつのやま

第2回松之山町良質米安定多収穫共励会入賞者

▷米収量の部

入賞区分	住所	氏名	品種	10アール当りの精玄米収量
最優秀賞	東山	渡辺喜久治	新潟早生	788
優秀賞	丸山	嘉幸	〃	727
〃	中尾	高橋ミチ	〃	716
〃	天水	越佐藤良雄	アキヒカリ	715
〃	湯之島	山口清治	新潟早生	708
〃	水梨	相沢春義	〃	707
優良賞	東川	小野塚徳一	〃	684
〃	西之前	南雲光利	〃	680
〃	湯之島	竹内多作	〃	672
〃	小谷	和久井禮治	キヨニシキ	667
〃	下川	志賀永吉	新潟早生	664
奨励賞	天水	佐藤英勝	アキヒカリ	638
〃	〃	佐藤慶一	〃	630
〃	坂中	竹内清	新潟早生	629
〃	中尾	樋口真一	〃	613
〃	五十子	浦井正二	〃	598
〃	中立山	佐藤忠義	〃	596

▷米代金の部

入賞区分	住所	氏名	品種	10アール当り米代金
最優秀賞	湯山	樋口健一	コシヒカリ	260,878円
優秀賞	〃	樋口清一	〃	254,940
〃	下川	村山寿雄	〃	248,210
〃	赤倉	村山恵志	五百万石	247,200
〃	光岡	津端英子	コシヒカリ	245,439
〃	丸口	樋口藤夫	〃	241,085
〃	五十子	浦井徳一	〃	240,689
優良賞	新田	久保田勇	〃	236,334
〃	曾根	久保田真一	〃	233,563
〃	北浦	早川健一	〃	231,584
〃	上川	村山正実	〃	230,792
〃	〃	村山真雄	〃	230,000
〃	〃	滝沢和平	〃	230,000
奨励賞	水梨	相沢良三	五百万石	229,357
〃	上之	時上勝治	コシヒカリ	228,813
〃	上飯	小林民男	〃	223,667
〃	藤原	倉重良司	〃	223,271
〃	黒倉	山口長一	〃	221,687

第2回良質米共励会

「米収量の部」最優秀賞  
渡辺喜久治さん

「米代金の部」最優秀賞  
樋口健一さん

今年の共励会は、全町から昨年を六人も上回る五十八人の熱心家に参加するという、一段と盛り上がったものとなった。

十アール当たり米収量最優七八八粒（十三俵強）を記録、「収量の部」で最優秀賞に輝いた東山の渡辺喜久治さんをはじめ、六人の方が七百粒取りを達成した。これは、山間地稲作の将来にとって、大きな勇気づけとなる。

良質米の代表というべきコシヒカリの出品が、全体の四五割を占め、しかも、上位入賞者の成績が昨年を上回った

ことは、この共励会の開催意義が浸透しつつあることを物語っている。

「代金の部」で最優秀賞を獲得した湯山の樋口健一さんが、四十年間にわたって深耕と堆肥の多投を心がけている点は、見逃せない。

表彰式で尾崎審査委員長は「堆肥の増施は干ばつや冷害に強い稲作りに不可欠だ」と強調した。

地道な努力が見事に実を結んで町長賞を手に入れた入賞者は、拍手をあげつつ喜びをみしめた。

第十七回錦鯉品評会

総合優勝は樋口ヨシさん

第十七回松之山町錦鯉品評会が二十六日行われ、十八人、百四十一尾の出品で体長別の五部門に分かれ審査された。「泳ぐ宝石」といわれるだけに、いづれも甲乙つけがたいすばらしい錦鯉でした。

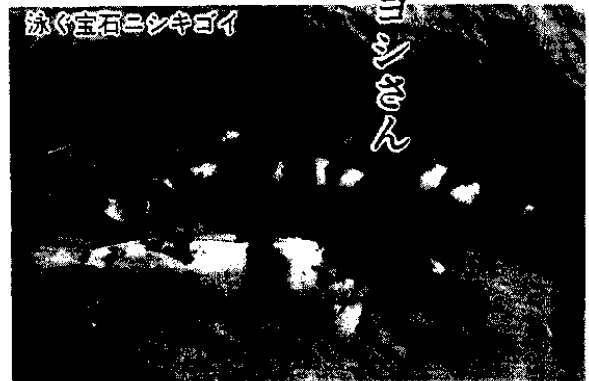
各部門の入賞者は次の通り

- ▽総合優勝 樋口 ヨシ
- ▽総合準優勝 樋口 幸雄
- ▽「三色」 樋口 幸雄
- ▽「紅白」 丸山サワ、一等「紅白」丸山サワ、二等「紅白」丸山サワ、三等「紅白」丸山サワ、
- ▽「三色」 村山政栄、一等「三色」村山政栄、二等「三色」村山政栄、三等「三色」村山政栄、
- ▽「竹内清司」 樋口 幸雄
- ▽「二十八センチ未満」 優勝「紅白」高橋平八郎、一等「三色」樋口保、二等「他」畔上勝治。
- ▽「三十五センチ未満」 優勝「紅白」高橋平八郎、一等「三色」村山政栄、二等「他」本山聖。
- ▽「四十五センチ未満」

公民館11月行事案内

11月3日(日)	テニス大会
9日(土)	親子ソフトボール大会
10日(日)	青年バレーボール大会
17日(日)	ピンポン大会
21日(木)	婦人バレーボール大会

くわしくは町公民館まで…  
ふるって参加ください



# 第4回 駅伝大会

秋空のもと  
8チームが健脚競う  
優勝は松里Aチーム



第四回駅伝大会が、すばらしい秋空に恵まれた十月十日体育の日に行われた。コースは今までの十五区間から十四区間二十六・三kmに変更され、小学生から高校生までの男女と二十歳から四十歳以上の男子からなる一チーム十四人編成で行われた。今年も、三省と布川が一チームの出場となり昨年より一チーム少ない八チームで健脚を競った。

午前八時半、町長の打つピストルを合図に浦田中学校前を中学生男子が一斉にスタート。

レースは昨年同様二区からトップに立った三省チームが



スタート前 緊張の一瞬

中盤の八区までトップを保ち、後の七チームがこれを追う展開となった。九区からトップが入れ替わり松之山Aチーム、松里Aチーム、三省チーム、布川チームの順で後半のトップ争いが行われた。レースは最終十四区で松里Aが松之山Aをかわしてトップでゴールインした。

これで松里Aチームは第一回大会から四連勝である。今年から十八歳以上の女子が走るコースがなくなったため、やや淋しい大会となったが、天候にも恵まれ方を出しきった後のスガサガしさが残る大会だった。

## 成績

▼総合成績

順位	チーム名	時間
1位	松里(A)	1:36:12
2位	松之山(A)	1:36:29
3位	三省	1:37:07
4位	布川	1:38:07
5位	浦田(A)	1:39:39
6位	松里(B)	1:39:54

▼区間優勝者

1区	高橋 猛(松里)	7:19
2区	中島 健男(三省)	7:19
3区	相沢 幸一(三省)	6:23
4区	村山 忠男(松里)	7:02
5区	山岸 正美(浦田)	3:14
6区	本山 久(浦田)	4:12
7区	福原 久彦(布川)	3:07
8区	高橋 重幸(松里)	5:37
9区	高沢 正弘(浦田)	5:37
10区	村山 幸夫(布川)	8:03
11区	竹内山可里(浦田)	4:10
12区	村山 真男(松之山)	7:50
13区	小野塚 茂(布川)	10:06
14区	佐藤 正利(松里)	9:56
15区	高橋 雅美(松里)	6:51



# 入賞者決まる

## 郷土提言 標語 絵

## 「明日の松之山町を考える」 「ビューティフルまつのやま」 「松之山の未来像」

町では、明日の町づくりに  
対する住民の意識を啓発する  
とともに建設的な地域振興の  
ための感想、提言を発掘・奨  
励し活力ある町勢の発展に寄  
与することを目的として、そ  
れぞれの作品を募集した所、  
町内外百七十八名の方から絵  
画百二点、論文五十八点、標  
語二十三点、合計百八十三点  
もの応募があった。作品は十  
月七日に松之山小学校長・平  
原栄二先生を審査員長に、各  
分野から選出された八人の審  
査員によって慎重に審査され  
た。

応募作品全体が真険に松之  
山の将来について考えられた  
力作ばかりであったため、審  
査も相当難行したが、各部門  
において最優秀賞一名(標語  
部門該当者なし)、優秀賞三  
名の方々の作品が選ばれた。

\*入選者は次の方々です

### 標語部門

- ▽優秀賞 久保田美保子(浦田中二年)
- ▽優秀賞 南雲 由紀(浦田中三年)
- ▽優秀賞 滝沢 美幸(松之山中二年)

### 論文部門

- ▽最優秀賞 保坂弓美枝(安高松之山分校三年)
- ▽優秀賞 高沢 努(安高松之山分校一年)
- ▽優秀賞 早川 朝子(安高松之山分校三年)
- ▽優秀賞 本山 勝(浦田中三年)

### 絵画部門

- ▽最優秀賞 草村 友明(松之山小六年)
- ▽優秀賞 高波 和幸(松之山小五年)
- ▽優秀賞 高沢 浩之(松里小六年)
- ▽優秀賞 南雲 洋二(浦田小五年)



最優秀賞 草村友明君の作品



草村友明

### 標語部門の入選作

- あたたかく 心がふれ合う 松之山 久保田 美保子
- 緑と人情豊かな町 一度来てみねえかい 松之山へ 南雲 由紀
- 明日の日に 向って作ろう 松之山 滝沢 美幸

### 講評

町の鳥「アカシヨール」をデザイン化したアイデアがよい。  
中に子供広場・キャンプ場・遊園地の造成等、町の当面する観光開発に対する夢もある。構図がしっかりしており、色彩も明快である。  
このまま町のポスターとしても使える。

今回は標語部門の入賞作品と絵画の部で最優秀賞になった草村君の作品しか掲載することができませんでした。  
論文・絵画の作品はこれからの広報の中で発表してゆきますので、ご期待ください。

# 第4回 郡美術展

## 郡展賞に松之山町から二名!

◀郡展賞「観世音菩薩」  
丸山寅吉さん



第四回東頸城郡美術展覧会  
が、十月十九日から二十一日  
まで牧村民体育館で開催さ  
れ書道四十三点、絵画五十三  
点、彫塑・工芸三十五点、写  
真九十二点、合計二百二十三  
点もの出品があった。  
松之山からは三十三点出品

され、各部門で最優秀作品に  
贈られる郡展賞に書道の部、  
小野塚幸子さん(東川)、彫  
塑・工芸の部、丸山寅吉さん  
(小谷)の作品が選ばれた。  
また、書道で佐藤力さん、  
絵画で猪俣栄二さん・草村慶  
子さんの作品が奨励賞に選ば  
れた。

◀郡展賞「後遊杜甫詩」小野塚幸子さん

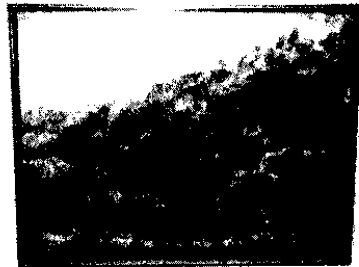
奇憶曾遊蜀  
山如青待  
翻烟老薄紗  
金齋減拾此復何と

◀「香積寺に過る」佐藤力さん

香積寺に過る  
伊 藤 慶 子  
山 崎 貞 子



「ワインのある静物」  
草村慶子さん



「錦秋」猪俣栄二さん

### 受賞者

#### \*書道部門

▽郡展賞「後遊杜甫詩」

小野塚幸子 (松之山町)

▽奨励賞「香積寺に過る」

佐藤 力 (松之山町)

▽奨励賞「良寛詩」

鈴木 益蔵 (松代町)

▽奨励賞「唐懷素論書帖」

古島 辰雄 (松代町)

#### \*絵画部門

▽郡展賞「静物」

長尾 晃雄 (安塚町)

▽奨励賞「風景」

九貫 修一 (安塚町)

▽奨励賞「錦秋」

猪俣 栄二 (松之山町)

▽奨励賞「ワインのある静物」

草村 慶子 (松之山町)

草村 慶子 (松之山町)

▽奨励賞「軌」

丸山辰五郎 (安塚町)

#### \*彫塑・工芸

▽郡展賞「観世音菩薩」

丸山 寅吉 (松之山町)

▽奨励賞「書類かご」

武田 大助 (大島村)

▽奨励賞「ひょうたんの飾り物」

若井鷹之丞 (松代町)

#### \*写真部門

▽郡展賞「湖畔の朝」

塩崎 直二 (蒲川原村)

▽奨励賞「かもめ」

市川 昭義 (松代町)

▽奨励賞「夫婦」

高橋 敏夫 (大島村)

▽奨励賞「ぶな生転」

白石 孝一 (松代町)

### 「にいがた牛3づくり運動」

#### 標語入選作品

▽優秀賞 樺沢 正利

草と牛 人が活かして

豊かな暮らし(山古志村)

▽優秀賞 小島 喜由

よい牛の 基礎は草です

わたしです(津南町)

その他に優良賞として三

人の方の作品が入選してい

ます。

▽最優秀賞 中島 良一

草つくる 産地に伸びる

にいがた牛(松之山町)

# 国民年金

## 昭和61年4月から 国民年金制度が改正されます

いまわが国は世界で例のないスピードで高齢化社会へと進んでいます。そのため現役の世代と老齢世代の助け合いの役割をしている公的年金制度はますます重要になってきています。

今回の改正は、今ある三種類七制度に分かれている公的年金を最終的には一本化していくための第一歩です。

新しい年金制度は昭和六十一年から実施されます。

新年金制度には三つの柱があり、その第一は基礎年金の導入です。これは厚生年金に加入しているサラリーマンとその奥さんもすべて国民年金に加入し、厚生年金と国民年金に共通した基礎年金が受けられるようにしようというものです。

第二は将来の年金の水準を現役の勤労者の所得や保険料負担とバランスがとれるようにすることです。

第三は女性の年金権の確立です。

今回の改正は国民年金・厚生年金及び船員保険の二制度についての一元化になります。

したがって共済組合の組合員及びその被扶養配偶者については「適用除外」となっています。

■第三号被保険者は  
届出を

来年四月から厚生年金等の加入者である夫の収入で生計を維持されている二十歳〜六十歳までの妻は、個別に国民年金の保険料を納めなくても

年金をもらうことができます。このような被保険者を第三号被保険者といいます。

第三号被保険者(だんなさんが厚生年金に加入している人の奥さん)は、届出をしていただかないと将来年金がもらえなくなります。もうすでに現況届の用紙がお手元に届いているかと思いますが、役場国民年金係へ必要な物を持って届出をしてください。

なお、共済組合に加入している人の奥さんは今回、届出の必要はありませんので注意してください。

不明の点は役場国民年金係にお尋ねください。



## 税金の話

### サラリーマンの 年末調整

サラリーマンの給与については、月の給料やボーナスが支払われるときに源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する正規の年税額とは一致しないのが普通です。

この理由としては、①年の中途で扶養親族の数が変わることもある。②生命保険料や損害保険料の控除は、毎月の給料やボーナスの税額計算のときには差し引かれていない。③毎月の給料やボーナスに適用される税額表は、各月の給料の額が変わらないものとして作成されていることなどがあげられます。

このため、その年の最後の給料やボーナスが支払われるときに、毎月源泉徴収された所得税の合計額と、一年間の給料総額に対する年税額との

過不足額の精算が必要となります。この精算手続を「年末調整」と呼んでいます。これにより大部分のサラリーマンはその年の納税が完了することになりますが、次のような人などは確定申告をする必要があります。

### 税を知る週間

11月11日から17日まで「税を知る週間」です。私たちの身の回りの税を知ることにより、積極的な社会参加ができるのではないのでしょうか。この機会に税の勉強を始めませんか。

①給料の収入金額が一五〇万円を超える人。  
②給料所得及び退職所得以外の所得が二〇万円を超える人。  
なお、確定申告をする必要のないサラリーマンでも、雑損控除や医療費控除、今年初めて住宅取得控除を受けようとする人などは、確定申告をすれば源泉徴収された所得税が還付されます。

10月  
フリース  
ネット

## 収穫のよろこび 学校田の刈り取り



みんなケガするなよ！



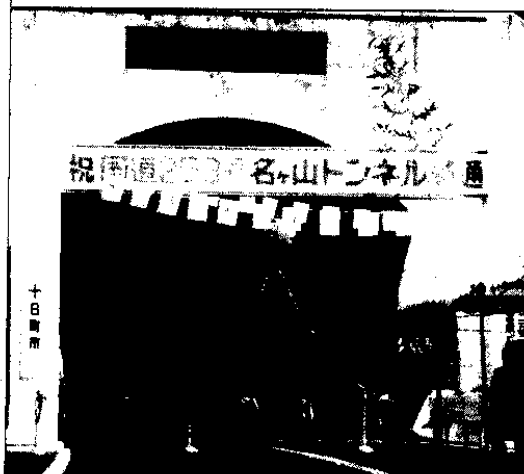
松之山小学校では、七年前から授業のひとつとして作っている学校田（黒倉分校協）の刈り取りを、秋晴れの十月四日に行った。

本校の五、六年生と分校の児童全員が、先生から鎌の使い方と稲の束ね方を教えてもらった後、全員が裸足になって田んぼに入り、二アール程の稲を約一時間かかって刈り取った。この日刈り取った稲は全部モチ米で五月二十七日に田植えを行い、その後の干ばつや病害虫にも負けず例年通りの豊作と喜んでいた。穫れたお米は十一月に学校の草取りなどでお世話になった老入クラブの人達を招待して、一緒にモチをつきながらにぎやかに収穫祭を行う予定です。

## 10月22日R253 名ヶ山トンネル開通

10月22日、国道253号線名ヶ山トンネルが完成し、その開通式が地元住民、工事関係者らが見守る中、華やかに行われた。

トンネルの長さは一一五五メートル、幅は八・五メートルあり、これで十日町が一段と身近に感じるようになった気がする。便利になったからといって、スピードの出し過ぎは事故のもとです。みんなで気をつけましょう。



## 崩田・月池・田麦立線 改良工事完了

崩田―月池―田麦立線改良工事がこの程完了し、十月二十一日、地区住民総出でこの完了を祝った。

またこの祝賀会は浦田・川西線全線開通も兼ねて行われ、月池部落でテープカットが行われた後、車で田麦立部落まで行進し、部落の人達のクスダマによる歓迎を受けた。



# 大盛況でした 大蔵寺高原のキノコ狩り

松之山町観光協会では「紅葉の高原でキノコ狩りに参加しよう」を、キャッチフレーズに参加者を募集したところ、ふるさと会員を含め県内外から六五名の応募があり、好天となった十月十日、大蔵寺高原で一日キノコ狩りを楽しんだ。

希望館の下では地元で穫れるキノコ約八十種が食用・無毒・毒の三つに分類されており、自分達の穫ったキノコと比べながら熱心に観察していた。キノコ汁で昼食を食べた後、早川先生よりキノコの講習を受けてから、自分で穫ったキノコを手に、それぞれの家へと解放した。



これは食べられますか？

鑑定に忙しい早川幸一先生

## 第1回つな引き大会 — 商工会主催 — 優勝は天水島チーム



ガンバレ ミセス山の神チーム

商工会青年部主催第一回つな引き大会が十月十四日、夕方六時三十分より町民体育館において行われた。出場チームは二十二チームで一チームのメンバーは八名、合計体重五六〇kg以内（女性だけのチームは五六〇kg以内なら何人でもよい）でトーナメント方式で行われた。チーム編成も非常にカラフルで、職場チーム・部落チーム・クラブチーム等々、中には女性だけというチームが二つあり、男臭い大会に花を添

えていた。

このユニークな大会を企画した商工会青年部（会長小山清）は、今までも文化講演会など多数開催しており町の活性化に一役かっている団体である。

今後もユニークな企画を多く立ててもらいたい。

\*つな引き大会成績

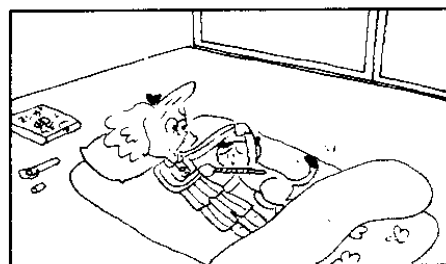
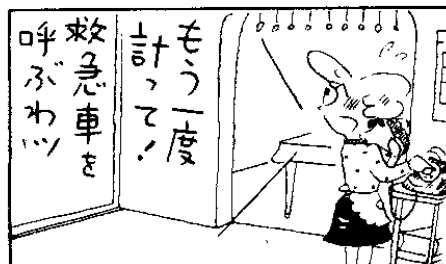
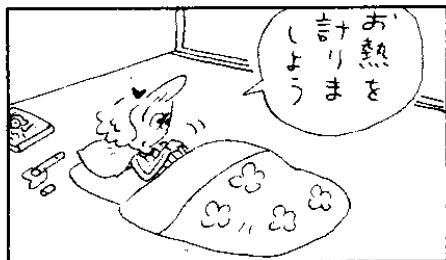
- ▽優勝 天水島チーム
- ▽準優勝 ベアーズチーム
- ▽三位 松之山生コンチーム

### 入札結果

- ▽総第三号 防火水槽  
(中立山) 四〇立方尺級
- ▽産第三十二号 二四〇万円
- ▽産第二十八号 地すべり関連 (藤倉地区道路) 三三〇万円
- ▽産第二十九号 地すべり関連 (天水島地区道路) 九百八十万円
- ▽高橋組 九百八十万円
- ▽産第三十号 耕地災害復旧 (橋詰地区) 二一〇万円
- ▽高橋組 二一〇万円
- ▽産第三十一号 耕地災害復旧 (大荒戸地区) 四二〇万円
- ▽産第三十二号 耕地災害復旧 (黒倉地区) 一五〇万円
- ▽飯塚建設 一五〇万円
- ▽産第三十三号 耕地災害復旧 (小谷地区) 三四〇万円
- ▽村山建材 三四〇万円
- ▽産第三十四号 耕地災害復旧 (天水越地区) 一〇四〇万円
- ▽高橋組 一〇四〇万円
- ▽産第三十五号 ほ場整備 (蒲田地区) 三五〇万円
- ▽飯塚建設 三五〇万円

# さわやか君

西村 宗



## 夕暮れ時の交通事故防止

〈交通安全夕暮れ作戦〉



運動のスローガン

### 夕暮れは 心で注意 目で確認

10月21日～11月20日

- 重点目標
1. ライトの早めの点灯
  2. 交通三悪の一掃
  3. シートベルト・ヘルメットの着用

新潟県交通安全対策連絡協議会  
市町村交通安全対策協議会

### 第31回 上越地区中学駅伝 松之山中学校 4位入賞

第31回上越地区中学駅伝大会が、10月23日上越市から柿崎町を往復するコースで行われた。参加チーム数は21。この大会に参加した松之山中学校のチームが大健闘し、4位に入賞した。優勝は町立妙高中学Aチームで、タイムは1時間25分24秒の大会新記録だった。松之山中学校のタイムは1時間27分29秒で、トップから2分5秒差だった。

31日	30日	26日	24日	22日	21日	18日	16日	15日	14日	10日	5日	▼10月のできごと		
農業委員会総会	献血	日(まで)	町農業祭・美術展(27日まで)	農業所得調査員会議	農道二五三名ヶ山トンネル開通式(松代町)	良質米共励会座談会	糖尿病検診	選挙管理委員会	消防分団長会議	究大会(16日まで)	新潟県社会教育委員研究会	行革委員会	第四回駅伝大会	議会産経委員会

つよみ

停電 東北電力

▽11月19日(火)  
○午前9時から12時まで  
○天水島・中坪  
○午後1時30分から4時30分まで  
○中立山

### 編集後記

今号から広報を担当することになりました相沢です。年度途中の交替でいささかとまどっているところです。当分の間、発行が遅れたりページ数が少なかったりして皆様にご迷惑をかけるかと思いましたが、よろしく願います。表紙は駅伝大会で一位になった松里Aチームのアンカーです。これから少しでも季節感のあるものを取り上げて行きたいと思います。色々な行事、出来事、変わった物、意見、アイデア、何でもけっこうです。お知らせください。お待ちしております。